

暑さ対策に係る関係府省庁等の主な取組

平成 30 年 6 月 7 日
内閣官房オリパラ事務局

1. 競技会場等の暑さ指数の測定

環境省において、大会期間中における熱中症予防に必要な情報の充実に向け、平成 29 年度より競技会場等の 14 地区程度を対象に暑熱環境の実測調査を行うとともに、暑さ指数の推計手法の検討を開始。

2. 暑さ対策に係るガイドライン等の策定と周知

環境省において、「夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドライン 2018」、「まちなかの暑さ対策ガイドライン（改訂版）」、「熱中症環境保健マニュアル 2018」等を策定。自治体やホームページで広く周知するとともに、その利用を促進する。

3. 大会運営における会場別・競技別の暑さ対策の検討

組織委員会において、環境省が行う暑さ指数の測定結果やガイドライン等を踏まえ、29 年度に有識者会議等での議論を経て暑さ対策のモデルケースを策定。30 年度は会場別・競技別対策の具体化に取り組む。

4. マラソン、競歩沿道等の暑さ対策

国土交通省の「アスリート・観客にやさしい道の検討会」において取りまとめられた、総合的な道路空間の暑熱対策の今後の方向性を踏まえ、国土交通省は関係機関と連携し、路面温度の上昇を抑制する機能を有する舗装や道路緑化等の必要な対策を推進する。

5. 外国人向け熱中症関連情報の発信

日本の夏の暑さに慣れていない外国人に対して、関係機関が連携し、訪日前からのきめ細かな情報発信を行う。また、観光庁において引き続き、災害時情報提供アプリ（Safety tips）によるプッシュ型の熱中症情報の発信、熱中症についての解説や外国人受入可能な医療機関情報を発信する（英中韓）。

主な取組

- ・ 在外公館や日本政府観光局のウェブサイトによる訪日前の外国人向け情報発信
- ・ 航空機内の動画ニュースや機内誌の活用（英語）
- ・ 環境省、気象庁、消防庁、東京都ウェブサイトにおける発信（英中韓など）
- ・ 訪日外国人が利用する施設におけるリーフレットの配布（英）

6. 救急医療体制の整備

消防庁において、多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」の普及促進、消防庁ウェブサイトに掲載している救急車利用ガイドの対応言語の拡大や当該ガイドの周知を図る。また、「訪日外国人旅行者受入れ医療機関」の更なる充実を推進する。